

令和7年

令和7年度
特別研修会 I

6月19日 木

14:00～16:30

「子供主体」の授業づくりに向けた 教師の学びと校内研のアップデート



子供主体の授業に向けた授業改善と教師の学びについてお話しいただきます。
学校として学び合い、成長できる組織を目指す校内研についても一緒に考えましょう。
校内研修として学校単位で参加しませんか？

講師

熊本大学特任教授
まえだ・やすひろ

前田 康裕 氏

1962年、熊本県生まれ。
熊本大学教育学部美術科卒業後、教師として小中学校に25年間勤務。
その間に、岐阜大学教育学部大学院教育学研究科を修了。熊本大学教育学部附属小学校教諭、熊本市教育センター指導主事、熊本市立小学校教頭、熊本大学教職大学院准教授、熊本市教育センター主任指導主事等を経て、2022年4月より現職。

『まんがで知る 教師の学び』、
『まんがで知る 未来への学び』、
『まんがで知る デジタルの学び』
シリーズ（さくら社）など、著書多数

お申込み

- ・県内教職員は、通常の研修の申し込み手順でお申し込みください。
- ・私立学校の教職員は、下記担当課へお電話でお申し込みください。
- ・教育委員会関係者は、下記URLまたはQRコードよりお申し込みください。

<https://forms.office.com/r/GQuLN0vWEZ>

お問い合わせ
山梨県総合教育センター調査研究課
TEL 055-262-6180

さくら しょうすけ
吉良 良介



一般留学生について

□令和8年度一般留学生の募集について

募集要項は、8月下旬に本センターのウェブサイトアップするとともに、各校に文書でお知らせします。9月に願書受付、10月に選考検査を実施する予定です。応募をお待ちしております。

□一般留学生とは・・・山梨県総合教育センターへ1年間の研究留学です！

各自の研究課題に基づき、センター内及び所属校にて1年間十分研究することができます。

- ・担当指導主事、支援グループ、研究協力員が研究を全面的にサポートします。
- ・国及び県の教育施策や教育課題等について考える研修会や講話会により、幅広い視点・知識を身に付けることができます。



編集発行
山梨県総合教育センター
山梨県笛吹市御坂町成田1456
電話 055-262-5571
Fax 055-262-5572
発行責任者 所長 天野 信一
発行日 令和7年5月27日

総合教育センターだより

141号 令和7年5月発行 山梨県総合教育センター

令和7年度のスタートにあたって 所長 天野 信一



山梨県教育委員会では、誰一人取り残されることなく、誰もが夢や希望の実現に邁進できるやまなしの教育の充実を目指し、令和6年3月に「山梨県教育振興基本計画」を策定・公表しました。「主体的に学び 他者と協働し 豊かな未来を拓く やまなしの人づくり ～誰もが教育の機会にアクセスできるやまなし～」を基本理念に掲げ、計画を推進していきます。基本方針の一つとして、「子供主体の授業への教育（授業）観の転換」が挙げられています。主語は「子供たち」であり、「何を知っているか」という学力観だけでなく、「どのように問題解決を成し遂げるか」という学力観も重要視しています。多様な他者と協働し、自ら自己調整しながら学習を進める「子供主体」の授業への転換を図ることにより、児童生徒一人一人の関心・意欲や特性に基づいた学びを実現することが求められています。

本センターでは、今年度より教職員支援機構（NITS）の協力を得て、次世代リーダーとして学校改善に向けた探究型研修「新たな教師の学びによる次世代リーダー研修会」を実施します。この研修では、「自ら問いを立て、実践の振り返りや対話、知識の習得を重ねながら実践を展開することで、自他の価値観を捉え直し、新たな問いや実践に向かう」持続的な探究プロセスを提供します。また、文部科学省から「子供の新たな学びの実現に資する学校管理職マネジメント力強化推進事業」（今年度から3年間）の採択を受け、管理職の総合的なマネジメント力の強化を図るため、「管理職マネジメント力強化研修」を次世代リーダー研修会と連携して実施していきます。学校の現状分析や課題対応策の検討、校内体制の整備などを行いながら、組織的に課題解決に取り組む実践をメインにした新しいスタイルの研修プログラムを開発することを目標としています。この研修を通して管理職のリーダーシップのもと、学校の組織的な課題解決力や教育力を向上させ、すべての子供の可能性を引き出す新たな学びの実現に向けた取り組みを推進していきます。

さらに、相談支援センターでは、令和6年度から24時間365日に対応する電話相談窓口「やまなし子供SOSダイヤル」を設置し、他にも「子供の発達相談ダイヤル」など相談窓口をさらに充実させています。いじめ・不登校・ヤングケアラー・発達に関する相談等、児童生徒や保護者、教職員の皆様からの悩みについて一緒に考え、支援してまいります。

このように本センターでは、「学校教育を支援する確かな情報発信源としての総合教育センター」を基本方針とし、「やまなし教員等育成指標」に基づく教職員の資質能力の向上、学校教育における課題解決に向けた様々な研修、研究、相談、開発及び普及啓発に関わる業務を推進してまいります。学習指導要領が目指す教育の姿が学校現場で具現化されるよう、「子供たち、先生方、学校のために何ができるか」を常に考え、山梨教育の「知の拠点」としてのシンクタンク機能を一層充実させるよう、関係教育機関との連携・協力を図りながら、所員一同、力を尽くしてまいります。今後とも、本センターへのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

研修指導課

令和7年度の研修について

令和5年3月に改訂された「やまなし教員等育成指標」を受け、本センターでは「学び続ける教員」を支援し、「新たな教師の学び」の具現化を目指して、今年度より「新たな教師の学びによる次世代リーダー研修会」（探究型研修）を実施してまいります。さらに、全ての研修に「イントロダクション」と「リフレクション」の時間を設定し、先生方が主体的に研修に参加できるように工夫を重ねてまいります。また、本センターホームページ「研修MyPage」につきましては、先生方がご自身の学びの履歴を円滑かつ計画的に記録できるとともに、管理職の先生方との面談に研修履歴を効果的に活用していただけるように、皆様のお声を反映しながら引き続きシステムの整備に努めていく予定です。

本年度も本センターにおける研修会への積極的な参加をお待ちしております。

本年度の法定（必修）研修の中から、次の研修について主な変更点をお伝えします。

■初任者研修

今年度より、「探究ノート」を使いストーリーをもって参加できるように工夫をしております。

■五年経験者研修

今年度は、令和2年度採用で「ソフォモア研修」を受講した先生方を対象に、ソフォモア研修報告会を含んだ研修グループと、平成31年度（令和元年度）以前に採用された先生方を対象とした研修グループの二団編成での開催となります。それぞれの団で研修日程および研修当日に提出する課題や、後日提出する「五年経験研修受講報告書」の書式も異なりますので、「研修の手引き」とともに研修要項（随時更新されるので研修会直前の最新のもの）をご確認ください。

調査研究課

1 研究支援

総合教育センターは、山梨県の教育の「知の拠点」としてシンクタンク機能の充実を目指し、学校教育の研究支援を行っております。

「新しい時代の学校教育の実現に向けた総合的な学校支援の充実一求められる資質・能力の育成に向けた実践的指導、校内研究の在り方」を研究テーマとし、「授業づくり・学校づくり」「情報教育」「相談支援」の三つの研究領域において、本センターの指導主事がチームを組織し、学校のニーズに応じた実践的な支援の充実に向けた学校支援を基盤とした調査、研究、開発等を行います。「授業づくり・学校づくり」領域では、研究推進校（総合教育センターによる校内研究支援対象校）とともに共同研究を行います。「情報教育」「相談支援」の各領域では、学校現場からのニーズやICT教育支援センター及び相談支援センターとしての専門性を踏まえた研究を推進し、実践的な学校支援となるよう、県下の学校に情報を発信していきます。

また、山梨大学とも連携し、各種学力調査の結果の共同分析・共同研究を推進することで、授業改善を中心とした研究支援を行います。

【令和7年度研究領域・研究推進校】

Ⅰ 授業・学校づくり研究領域	楡形西小学校（1年次）
	都留第一中学校（2年次）
	楡形中学校（データ分析WG協力校 2年次）
	上野原高等学校（2年次）
Ⅱ 情報教育研究領域	
Ⅲ 相談支援領域 (教育相談・教育支援／特別支援教育)	全県を対象とするため、研究推進校の指定はしない

2 学力調査の実施・分析

全国学力・学習状況調査や山梨県学力把握調査等、各種調査を実施し、結果から児童生徒に身に付いている力やつまずき等について分析し、小中学校や関係機関に対して分析の概要や授業改善のポイントについて資料を提示します。また、授業の改善・充実に向けた説明会を年間2回開催することで、児童生徒の学力の向上や教職員の資質・能力の向上を推進します。

本年度の研究の成果については、令和8年2月19日（木）の「センター研究大会」において、県内外に発信します。研究支援に関する研究発表及び参加者によるグループセッションを行う予定です。

また、研究紀要を作成しホームページに掲載します。

なお、過年度の研究紀要はホームページにて閲覧することができます。

相談支援センター

相談支援センターでは、相談・研修・研究を通して、子供たちの健やかな成長を支援しています。学校関係者の皆様には、電話による相談や、ケース会議、校内研究会等への講師派遣を行っております。児童生徒・保護者の皆様には、電話や面接での相談を行っております。

《学校関係者の皆様》

教育相談担当：055-262-5904

不登校やいじめ、友人関係などに関する相談や校内研究会などの講師を行います。

特別支援教育担当：055-263-4606

特別支援学校への転入学、子供の発達に関わる相談、校内研究会などの講師を行います。

教育支援担当：055-262-6801

県内のSC、SSWや市町村の教育支援センターへの支援を行います。

《児童生徒・保護者の皆様》

■教育相談

お子さんの悩みや心配ごとに関する相談窓口

☎電話相談：☎ 0120-0-78310（やまなし子供SOSダイヤル）
365日24時間 受け付けます。

☎面接相談：☎ 055-267-5887 平日 午前9時～午後5時

※事前に電話でご予約ください。

■子供の発達相談

お子さんの発達に関する相談窓口

☎電話相談：☎ 055-267-8235 平日 午前9時～午後5時

☎面接相談：☎ 055-267-5887 平日 午前9時～午後5時

※事前に電話でご予約ください。

ICT教育支援センター

☐ICT教育支援センター

本センターは、山梨県教育委員会のICTに関する取組を広く支援しています。

ICT活用の研修・研究から、校内研修の支援、ICT機器やネットワーク環境の相談対応、グループウェア等の運用サポートまで、多岐にわたる業務を通じて、学校現場の皆さんの「ICT活用」を応援しています。

「機器の使い方がわからない」「こんな授業にICTを取り入れてみたい」など、どんな小さなことでも構いません。お気軽にご相談ください。

ICT教育支援センター TEL：055-262-5508

☐私たちの主な取組

①ICT利活用を支える研修・研究

・教職員向けのICT活用研修や授業づくり研修の企画・実施

・外部機関と連携した実践的な研究と情報提供

②学校訪問・相談支援

・ICTに関する校内研修や研究会への講師派遣

・ソフトウェアやネットワーク環境に関する技術的な相談対応

③情報教育の推進

・児童生徒の情報活用能力の育成に向けた教材・授業づくりの支援

・情報モラルやメディアリテラシーに関する校内研修の支援

・PCリーダーやネットワーク担当者への支援と校内体制の整備支援

・ICT支援員との連携による現場支援の充実

④教育用コンテンツの収集・発信

・授業や校務に役立つデジタル教材・資料の収集と紹介

・本センターホームページでの情報提供やデータベース整備

⑤システムの運用と業務効率化支援

・PeachWare（学校情報支援システム）や旅費・休暇システムなどの運用サポート

・教育情報ネットワーク「ハイユースネット」のヘルプデスク対応

☐ホームページについて

①「やまなしeラーニング（YeL）」について

研修の効率化と充実、受講の利便性を図ることを目的に、YeLを運用しています。校内研修や自己の研修にも利用可能です。

②「ICT利活用推進」ページについて

ICTの利活用に関する情報をまとめています。〔基礎基本編〕〔ツールの使い方編〕〔授業等での活用・実践編〕〔ypecICT通信〕の4つの項目に分けて、情報提供をしています。

本センターのホームページを、是非定期的にご覧ください。